

## 一般質問通告書

通告順番 1番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の主旨	質問相手
<p>急激な人口・企業増加に伴う水道基盤強化の費用負担と料金抑制の考え方について</p>	<p>TSMCをはじめとする企業進出や住宅開発の進展により、大津菊陽水道企業団における水需要は急増しており、配水幹線の強化やループ化、耐震化など水道基盤の強靱化が急務となっている。</p> <p>一方で、水道事業は独立採算制を原則としており、開発投資が水道料金へ転嫁されれば既存住民の負担増につながる。こうした状況を踏まえ、開発関連水道整備について「開発固有部分」「町全体の機能強化部分」「水道料金負担分」「一般財源負担部分」をどのような客観的かつ明確な基準で運用しているのかを具体的にお伺い致します。あわせて、両町の税込増加という財政環境の変化を踏まえ、水道料金の上昇を抑制するため一般財源を戦略的に活用する考えがあるのか見解をお伺い致します。</p>	<p>企業長</p>
<p>水道料金等の窓口業務包括委託に伴う機構改革の進捗状況について</p>	<p>本企業団においても、水道料金徴収業務や窓口業務について、業務の効率化や住民サービス向上等を目的として包括委託を進められているが、これに伴い職員の配置転換や組織体制の見直しなど、効率的な機構改革を行うと伺っている。そこで、窓口業務等の包括委託に伴う機構改革及び令和8年度予算における包括委託費用に対してどの程度の効果を見込んでいるのか具体的にお伺い致します。あわせて、配置転換となる職員の知識や経験を今後どのように企業団の業務に生かしていく考えかについてもお伺い致します。</p>	<p>企業長</p>